

富山県太鼓協会設立50周年記念

第46回

富山の太鼓

特別出演・・富山県立南砺平高等学校 郷土芸能部



令和3年

11月14日

13時開場
13時半開演

砺波市文化会館

大ホール

- ◆主催 富山県太鼓協会（日本太鼓財団富山県支部）
- ◆共催 株式会社北日本新聞社、北日本放送株、富山エフエム放送株
- ◆協賛 (公財)日本太鼓財団、中日本太鼓連合、北陸三県太鼓協会、株式会社浅野太鼓楽器店
- ◆後援 日本財団、(公社)とやま観光推進機構、砺波市、砺波市教育委員会、(一社)砺波市観光協会、となみ衛星通信テレビ株、株エフエムとなみ



ご挨拶

富山県太鼓協会 会長 本田 勝也

本日「富山県太鼓協会設立 50 周年記念 第 46 回 富山の太鼓」がコロナ禍の中ではありますが、ここ 砺波市文化会館 大ホールにて開催できる運びとなり誠に光栄であり 心から感謝申し上げます。富山の太鼓としては 2 年ぶりの開催となり、今回は当協会設立 50 周年の記念として、平穏な生活にいち早く戻れますようにとの願いを込めて「祈り」とサブタイトルを付け衛生面に最善の注意を図りながら運営させていただく所存です。

来年 3 月には富山市オーバードホールにて「第 24 回日本太鼓ジュニアコンクール」が開催予定となっ

ております。前回大会においては富山県代表で出場した 越中いさみ太鼓保存会 春蘭が、特別賞の「岡山県教育委員会教育長賞」を受賞しました。本日のプログラム内でも次回大会への出場をかけた予選会を行います。最後まで、ジュニアの熱い戦いに応援をお願いいたします。

結びにこのような状況下での開催にご尽力いただきました砺波市をはじめ関係各位の皆さま方に心から感謝を申し上げますとともにご来場いただきました皆さま方の今後のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

砺波市長 夏野 修

このたび、第 46 回富山の太鼓が、ここ砺波市で盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

また、富山県太鼓協会の皆様には、日頃から、富山の太鼓の技術向上と伝統芸能の伝承・振興を通して、地域社会の発展にご尽力を賜っておりますことに深く敬意を表する次第であります。

さて、太鼓は、これを広く世に伝え、後世に伝承しようとする志のもと、多くの人々によってふるさとの風土や歴史とともに、生活の中で受け継がれてまいりました。

特に、この大会では、ジュニアコンクールも行われるなど、伝統芸能を継承する上においても、大きな役割を担っているものと期待しております。

本市では、「もっと元気 ほっと安心 ずっと幸せ」に暮らしていけるよう、「ともに輝き支え合う 人づくり」を基本方針の一つに掲げ、芸術活動への支援と地域文化の継承に務めているところであります。

どうか、出場者の皆さんには、日ごろの練習の成果を十分に発揮していただくとともに、今日の大会を通じて、交流と融和をさらに深めていただきたいと存じます。

結びに、本大会のご盛會を心からご祈念申し上げますとともに、本日、ご参会の皆様方の今後ますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

富山県太鼓協会設立 50 周年記念

第46回 富山の太鼓 プログラム

オープニング	曹洞宗瑞龍山最勝寺 和尚	谷内 良徹
開会挨拶	富山県太鼓協会 会長	本田 勝也
祝辞	砺波市長	夏野 修
激励の言葉	富山県議会議員	米原 蕃
祝電披露		
共演会		

水舞流越中八幡太鼓保存会

氷見有磯太鼓保存会

源多良太鼓保存会

越中いさみ太鼓保存会

富山県ジュニア和太鼓コンクール砺波場所

水舞流越中八幡太鼓保存会 ゆうすい 湧粋

越中いさみ太鼓保存会 白虎

源多良太鼓保存会 「心 (shin)」

越中いさみ太鼓保存会 春蘭

越中いさみ太鼓保存会 飛龍

特別出演 富山県立南砺平高等学校 郷土芸能部

エンディング 春風 (鼓童作曲)

閉会式

水舞流越中八幡太鼓保存会

演奏曲「チャレ打ち・水の舞・清流打ち・岩清水」

当保存会は、地元富山県砺波市太郎丸地区に古くから伝わる「大神楽太鼓」を継承する目的で、昭和53年に発足しました。伝統を受け継ぎ太鼓を親しむうちに、太鼓の持つ奥深い魅力をしるところとなり、曲打ち太鼓の創作に力を注いできました。八幡太鼓は太鼓の音を聴いてもらうだけでなく、打ち手の感性を大切に「間」と「所作」を取り入れ、人に感銘を与えるような太鼓を目指して修練を積み、舞台を踏むにつれ評価も頂くようになり、富山県太鼓協会の認定する「名人位」



を3名輩出しています。八幡太鼓の基本は、富山県砺波平野を流れる「庄川」の四季折々の清流をテーマにして、伝統の中に新しい感性を取り入れ『一つの天に二つの流

れを静と動』で表現しています。数多くの舞台を経験した当保存会も今年で結成43周年を迎えます。

氷見有磯太鼓保存会

演奏曲「海宴打楽」

【由来】 その昔、氷見海岸一帯は「有磯の海」と呼ばれており、万葉の歌人 大伴家持が「有磯の海…」と歌ったのが始まりと言われております。

今では「氷見」と言えばキトキト日本一の魚の町として皆様よくご存知のことと思いますが、昔から富山湾の暖流と寒流のせめぎ合う富山湾の沖合で鰯、鮪、鯨の大漁の時は太鼓を打ち鳴らして豊漁を喜び合い、村人達を集めたと言われております。その時の太鼓のリズムに獅子舞の曲打ち太鼓を折り込み「有磯太鼓」と名付けられたと言われており、大漁の期待と祈り、感謝を込めた人々の生活の中から生まれた伝統ある和太鼓です。



源多良太鼓保存会

演奏曲「三昧、とこしえ、やろまいけ！」

源多良太鼓保存会は、高岡市福岡町の大滝地区にある、小さな集落「開群」に太古の昔から流れる源多良川から、その名を名づけられました。夜通し源多良川のほとりで五穀豊穡を願って打たれていた太鼓は一時途絶えていましたが、郷土芸能の再興と、青少年の情操教育、健全育成を目的として、また地域参加の願いを込めて、平成元年10月に子供太鼓が結成され、復活しました。



平成4年には、大人太鼓を結成し、福岡町のつくりもんまつり、地域のイベント、自衛隊コンサート、刑務所慰問、介護施設や養護学校での演奏、二度の日中友好使節団として中国演奏を経験、子供太鼓は第15回・第16回日本太鼓ジュニアコンクール富山県大会で優勝し全国大会へ二度の出場、2015年から

は毎回、富山マラソンで約2時間、沿道で打ち続ける応援演奏等の活動をして参りました。

現在、子供11名、大人12名の会員で活動しております。

越中いさみ太鼓保存会

演奏曲「散居の響き」

約900年前の長承2年(1133年)、現在の富山県砺波市野村島鎮守桑野神社の神事に起因し、御神体安置の際に打ち鳴らされたのが始まりと伝えられています。

戦後、昭和27年(1952年)に村の有志がこの太鼓を復活させ、2年後、富山県では最初に「保存会」を結成し、活動を始めました。県内外に数多くの出演をしてきており、富山県太鼓協会にはその前身団体の設立時である昭和45年(1970年)より参加し、平成25年(2013年)には保存会結成60年の祝賀会を開くに至っております。

保存会結成以来、大人の部と子供の部があり、伝統継承に力を注いできました。子供の時からずっと参加している者がほとんどで、大人になっても自分の子供にも教える形で、親子で活動しているメンバーが多数おります。

基本となる演奏は笛と地方に合わせて打ち込む北陸特有の曲打ち太鼓ですが、近年は古来のいさみ太鼓の伝統

を基盤に、時代感覚を取り入れた新しいスタイルの曲も演奏し、活動を続けています。

以前は野村島の有志での活動が中心でしたが、現在では野村島地区だけでなく、砺波市内外からの会員も増えてきています。

演奏活動だけでなく、個人・団体に対する指導、曲の提供も積極的に行っており、これからさらなる発展を期待しているところであります。





水舞流越中八幡太鼓保存会 ゆうすい 湧粋

演奏曲「勇打」

■出演者

広瀬 一樹	井上 大暉
岩坂 凜心	中山 恵佑



源多良太鼓保存会 「心 (shin)」

演奏曲「輝く空に」

■出演者

寺野 さとみ	木戸 啓翔
矢部 杏実	島次 斗希
宮丸 華音	小崎 涼太郎
奥波 蒼真	伊東 湊
木戸 一翔	里木 昌平



越中いさみ太鼓保存会 白虎

演奏曲「立山の響き」

■出演者

西村 笑	横井 杏南
柴田 紗良	横井 煌典
西永 光汰	笠原 路馬



越中いさみ太鼓保存会 春蘭

演奏曲「らん」

■出演者

野村 日向子	織田 寿々音
片田 結菜	高木 聡汰
森田 善心	河合 茉穂呂
織田 倫太郎	高木 遙愛
亀田 結菜	



越中いさみ太鼓保存会 飛龍

演奏曲「飛龍」

■出演者

藤井 拓海	野村 颯
高木 晴音	田口 颯真
水上 慶悟	





オープニング



曹洞宗端龍山最勝寺

1197年鎌倉期創建、一休さん蝮川新右衛門さんゆかりの禅寺。
本尊釈迦牟尼仏、県指定文化財の阿弥陀三尊、平安時代の弥勒仏など安置、一切経も所蔵する。
現在は曹洞宗、供養や祈祷の仏事や禅の体験会などを開催中。

和尚 谷内 良徹

曹洞宗僧侶。大学で禅学を修め、禅道場での修行を経て、富山市最勝寺を拠点に「ヨガ坐禅」「食べる禅」「書き禅」など禅の体験会を開催。

神職と僧侶のコラボ「神仏かふえ」、飲み屋で禅を発信する「禅坊主バー」などイベントも企画。書籍『食べる禅』出版など禅を広く展開中。



特別出演

富山県立南砺平高等学校 郷土芸能部



富山県立南砺平高等学校は、世界遺産・合掌造り集落のある越中五箇山にあり、昨年創立70周年を迎えました。

全校生徒は80名に満たない小さな学校ですが、スキー部や郷土芸能部をはじめ、多くの生徒が全国の舞台上で活躍し、一人一人が大きく輝いている学校です。郷土芸能部は、地元五箇山地域に伝わる民謡を学び、伝承することを目的に、平成元年に創部されました。普段は福祉施設や地域のお祭りに出演して、五箇山民謡の魅力を各地に発信しています。また、全国高等学校総合文化祭には平成6年度から出場しており、平成18年度と同26年度の最優秀賞・文部科学大臣賞受賞をはじめ、入賞回数は全国

一となっています。今年8月の和歌山大会では「優良賞」を受賞し、7年ぶりの入賞となりました。





今 後 の 予 定

- 令和4年3月20日(日) 第24回 日本太鼓ジュニアコンクール
会場▶富山市「オーバードホール(富山市芸術文化ホール)」
- 令和4年4月24日(日) 第47回 富山県太鼓打ち競技会
会場▶砺波市文化会館大ホール
- 令和4年7月16日(土)・17日(日) 第28回 雷童サマースクール
会場▶砺波市文化会館
- 令和4年11月20日(日) 第47回 富山の太鼓
会場▶氷見市芸術文化館(2022年10月開館予定)